

「プレゼンテーションを体験！」

1 ワークショップのねらい

(1) プレゼンテーションの目的と指導のポイントを考える

目的：明確な根拠を示して相手を説得し、自分の主張を納得させること

大事にしたいこと：プレゼンテーションの目的意識と課題の持たせ方

指導のポイント：単元構成と手順

内容と構成を練るための条件設定

スライドはシンプルに、語りは表現豊かに

課題達成につながる評価の視点と方法

(2) 実際にプレゼンテーションを体験しながら、指導のポイントを学ぶ

2 内容

テーマ：「私が考える□□な日本の○○を伝えよう」

実施教科の想定：国語科、総合的な学習の時間など

時間：2時間

3 ワークショップの場面設定

(1) 相手意識と目的意識

プレゼンテーションは、伝える相手を想定し、その相手に私たちの考えを伝える活動です。様々な学習場面での題材が考えられますが、いずれにせよ「私は、○○は□□だと考える」という主張を相手の立場に応じて分かりやすく伝える活動を行うこととなります。しっかり伝えきる活動とするために、相手の想定とテーマの設定が大切です。

また、自分たちが伝えたい内容について、本当にそうだと思ったり、素敵なことだと思ったりすることが大切であり、自分たち自身が納得出来るまで内容を検討することが必要です。そして「○○は、本当に□□だ」と思えることです。そのような題材を選択して、伝える活動の課題とすることが望ましいでしょう。

このワークショップでは、例として「日本の○○」をテーマとし、「私は、日本の○○は□□だと主張する」と伝えるために、「□□な日本の○○」をタイトルとしたスライドをつくりたい。○○には、自然・文化・人々・食べ物・建物など適宜入れて考えればよいでしょう。「○○」や「日本」を別のものに読み替えれば、他の題材でも作成が可能となります。

また、今回は文章の練り合いに重きを置いているため、「撮影・取材」に関しては、割愛しています。そのため、ワークショップではすでに撮影されている写真を使ってスライドをつくりたい。「撮影・取材」は重要な作業の一つですので、ワークショップの条件が合えば、教師の意図によって適時、指導に工夫を凝らしてもよいでしょう。

このようにまず、学習課題につながる題材設定が必要であり、そこから、児童によるタイトルづくりや内容決定が行われます。ついで、主張を理由付ける際には、相手に応じた分かりやすい論拠を示すことが大切となります。

(2) 子どもたちに付けたい力

- 相手の理解を深められるようなスライド資料をつくる力
- スライドを示しながら、相手の理解を深められるように語る力

(3) 活動の時間設定と手順

児童の学習活動においては、以下の単元構成が一般的でしょう。

1. 情報発信をゴールの一つとして、課題設定と探究活動を行う
2. 分かってきたことから、伝える相手と内容を絞り込み、手段を決定し、伝える活動の構想を練る
3. プレゼンテーションについて、理解する
4. スライドをつくり、練り合いや練習を行う
5. プレゼンテーションを行う
6. 相手からの反応や意見をいただき、次への学習活動につなげる

このワークショップでは、プレゼンテーション指導についての理解を図るため、講義と演習を以下の構成で実施していきます。

【全2時間】

1. プレゼンテーション指導について、考えてみましょう(10分)
2. 課題を持って、活動の見通しを持ちましょう(10分)
3. プレゼンテーションの内容を考えましょう(35分)
4. コンピュータを使ってスライドをつくり、発表練習をしましょう(40分)
5. 発表会と評価をしましょう(20分)
6. まとめ(5分)

講義と演習部分の手順は、以下のようになります。

【1】〈プレゼンテーション指導について考えてみましょう〉

- ① ワークショップのねらいを知る
- ② プレゼンテーション指導の「落とし穴」について考える
- ③ 学習指導要領(国語科)における位置付けについて確認する

【2】〈課題を持って、活動の見通しを持ちましょう〉

- ① ゴールのイメージを持つ→相手に納得してもらうように伝えること
- ② ワークショップの流れを知る
「内容を考える」→「スライドづくり」→「発表の練習」→「発表会」→「相互評価」
→「まとめ」
- ③ プレゼンテーションの目的とスライドづくりのコツを知る

【3】〈プレゼンテーションの内容を考えましょう〉

※ワークシート「スライド作成のポイント」を使って、グループで作業する

- ① 伝えたい相手を書く
- ② 伝える内容とタイトルを決める
- ③ 写真を選ぶ
- ④ スライドの構成を考える

【4】〈コンピュータを使ってスライドをつくり、発表練習をしましょう〉

※ソフトの操作については、ソフト取扱説明書を参照する

写真素材データをダウンロードする

- ① スライドを6枚用意し、1枚目にはタイトルを入れ、2～6枚目に写真を貼り付ける
- ② スライドにキャプションを入れる
- ③ 写真に合わせた語りの原稿を書き、練り合う
- ④ スライドの進行に合わせて、語りや身振り手振り・表情を入れて発表練習をする

【5】〈発表会と評価をしましょう〉

※評価シートを活用する

- ① 相互評価の観点を知る
- ② プレゼンテーションをして、相互評価をする
- ③ 相互評価を伝え合う

【6】〈まとめ〉

- ① 教師の立場で見た活動の発表・評価を行う
- ② プレゼンテーション指導のまとめを行う

この過程を経て、相手の目を見て自らの語りや身振り手振り・表情で訴えかけるプレゼンテーション本来の姿を追求します。

4 準備

機器環境：複数人に1台のコンピュータ
使用ソフト：「キューブプレゼン」
USBメモリー

- 準備物：●参加者用ワークショップの手引き
- 提示用スライド
 - 写真素材一覧(サムネイル画像)
 - 写真素材データ
 - ワークシート「スライド作成のポイント」
 - 原稿用紙ワークシート
 - 評価シート
 - 自己評価シート
 - ソフト取扱説明書
 - 筆記用具
 - のり・はさみ

5 ワークショップの流れ

プレゼン

「私が考える□□な日本の○○を伝えよう」

時間	主な発問と参加者の主な活動	進行上のポイント
10分	<p>【1】プレゼンテーション指導について、考えてみましょう</p>	
	<p>「プレゼンテーション指導の問題点から、プレゼンテーション指導について考えてみましょう。」</p> <p>1. ワークショップのねらいを知る</p> <div data-bbox="295 667 550 862"> <p>ワークショップのねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの立場でスライドを作成する ● 教師の立場で指導のポイントを体験 </div> <p>[スライド2]</p> <p>2. プレゼンテーション指導の「落とし穴」について考える</p> <div data-bbox="295 1012 550 1205"> <p>プレゼンテーション指導の「落とし穴」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 相手意識、目的意識の欠如 ● 手だてが不明確 ● 練り合う機会なし ● 評価が曖昧 </div> <p>[スライド3]</p>	<p>★スライドを使って説明する ●</p> <p>ワークショップのねらい ●</p> <ul style="list-style-type: none"> ● プレゼンテーションの目的と指導のポイントを考える <p>プレゼンテーション指導の「落とし穴」 ●</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 相手意識、目的意識の欠如 ● 手だてが不明確 ● 練り合う機会なし ● 評価が曖昧
	<p>3. 学習指導要領(国語科)における位置付けについて確認する</p> <div data-bbox="295 1391 550 1583"> <p>学習指導要領(国語科)における位置付け</p> <p>■小学校 話すこと・聞くこと ①活動例</p> <p>【低学年】ア 事物の説明や経験の報告をしたり、それらに関して感想を述べたりすること。</p> <p>○事物の説明 ○経験の報告</p> <p>【中学年】ア 出来事の説明や経験の報告をしたり、それらに関して意見を述べたりすること。</p> <p>○出来事の説明 ○読書の報告</p> <p>【高学年】ア 資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらに関して質問や提案をしたりすること。</p> <p>○リーフレットやパンフレットを使ったスピーチ ○プレゼンテーションソフトを使用した説明・報告</p> <p><small>「小学校学習指導要領(国語科) 活動例」 各学年の「話すこと・聞くこと」の活動例(1)の例</small></p> </div> <p>[スライド4, 5]</p>	<p>学習指導要領(国語科)における位置付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 話すこと・聞くことの活動例 ● 高学年(5～6年)の言語活動例

留意点……赤字
配布物……青字

指導上のポイントを明確にする。

「プレゼンテーション指導で大切にしたいこと」と「指導のポイント」を示す。

体験談を交えて説明する。
例)「言葉づかい」や「伝えたい相手の学年で習っていない漢字は使わない」など

問題点を挙げる
・原稿を読むだけのプレゼンテーション
・文字がいっぱいのスライド
・評価は「大きな声ではっきりと」だけ